

目 標

洪水の安全な流下に支障を及ぼさないよう治水面との整合を図りつつ、過去に多く自生していたハルニレ・ヤチダモ等に配慮した多様性のある河畔林の管理。

天塩川を特徴づけるテッシ、河畔林、旧川などについては、多様な生物の生息・生育の場となっていることから、治水面と整合を図りつつ、その保全に努める。

河畔林については、生物の移動経路としての機能を有していることから縦断的な連続性や周辺樹林地との横断的な連続性の確保に努める。



支川及び旧川と連続した状況



山付で連続した状況



周辺樹林地と連続した状況